Ⅱ．重要な会計方針の変更
１．特定の償却資産の処分に係る会計処理
代替資産の取得が予定されていない特定の償却資産（独立行政法人会計基準第87）の処分差額については、前事業年度まで、固定資産売却損益に計上しておりましたが、「「独立行政法人会計基準」及び「独立行政法人会計基準注解」に関するＱ＆Ａ」の改訂に伴い、当事業年度より資本剰余金に計上する方法に変更しております。
これにより、前事業年度と同一の方法によった場合と比べて、税引前当期純損失が307,902円減少し、資本剰余金が同額減少しております。なお、行政サービス実施コストに与える影響はありません。
Ⅲ．表示方法の変更
前事業年度において、損益計算書の経常費用の業務費のその他の業務費及び受託費のその他の受託費に含めておりました消耗品費は、研究等に使用する物品の購入及びその費消に関する性質をもつものであり、研究材料費と合わせて表示した方が明瞭であるため、当事業年度より「研究材料費及び消耗品費」に改め、それぞれ経常費用の業務費及び受託費に表示しております。
なお、前事業年度にその他の業務費に含めていた消耗品費は1,459,890,252円、その他の受託費に含めていた消耗品費は11,670,607円であります。
Ⅳ．重要な債務負担行為
重要な債務負担行為は186,973,923,174円であります。
Ⅴ．重要な後発事象
該当事項はありません。
Ⅵ．貸借対照表関係
１．運営費交付金で財源措置されるべき退職給付の見積額は29,709,460,728円であります。
２．運営費交付金で財源措置されるべき賞与引当金の見積額は1,256,081,136円であります。
３．当期に減損を認識した固定資産は以下のとおりであります。
⑴　角田宇宙センターの建物の一部
①　固定資産の概要
・用途　供給系燃焼試験等設備及び高圧酸素ターボポンプ試験設備
・種類　建物
・場所　宮城県角田市君萱字小金沢１
・減損前の帳簿価格（平成23年度期首）　2,533,735円
②　減損の認識に至った経緯
上記資産については、供給系燃焼試験等設備として２建屋をＪＡＸＡ設立に際し承継しましたが、承継時に比べて平成23年度期中における利用率が著しく低下しており、利用率の回復は見込まれないことから、減損を認識しました。
③　算定方法等の概要
減損額は、正味売却価額により算定しており、正味売却価額は、不動産鑑定業者が作成したデフレータに基づいて算定しておりますが、算定額が帳簿価額を上回っていたため、減損額は生じませんでした。
⑵　地球観測センターの建物の一部
①　固定資産の概要
・用途　車庫
・種類　建物
・場所　埼玉県比企郡鳩山町大字大橋字沼ノ上1401
・減損前の帳簿価格（平成23年度期首）　4,586,112円
②　減損の認識に至った経緯
上記資産については、車庫としてＪＡＸＡ設立に際し承継しましたが、承継時に比べて平成23年度期中における利用率が著しく低下しており、利用率の回復は見込まれないことから、減損を認識しました。
③　算定方法等の概要
減損額は、正味売却価額により算定しており、正味売却価額は、不動産鑑定業者が作成したデフレータに基づいて算定しておりますが、算定額が帳簿価額を上回っていたため、減損額は生じませんでした。
⑶　勝浦宇宙通信所の建物の一部
①　固定資産の概要
・用途　衛星の運用管制用建物、倉庫、広報アンテナ操作室
・種類　建物
・場所　千葉県勝浦市芳賀花立山１―14
・減損前の帳簿価格（平成23年度期首）　9,871,805円
②　減損の認識に至った経緯
上記資産のうち、衛星の運用管制用建物としてＪＡＸＡ設立に際し承継した１建屋については、倉庫として使用することとしたため、承継時に比べて平成23年度期中における使用可能性が著しく低下しており、使用可能性の回復は見込まれないことから、減損を認識しました。
上記資産のうち、倉庫としてＪＡＸＡ設立に際し承継した１建屋については、承継時に比べて平成23年度期中における利用率が著しく低下しており、利用率の回復は見込まれないことから、減損を認識しました。
上記資産のうち、広報アンテナ操作室としてＪＡＸＡ設立に際し承継した１建屋については、平成23年度期中において使用しないこととしたため、減損を認識しました。
③　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳
・損益計算書に計上した減損額：０円
・損益計算書に計上しない減損額：4,958,318円（損益外減損損失累計額で計上）
④　算定方法等の概要
減損額は、正味売却価額により算定しており、正味売却価額は、不動産鑑定業者が作成したデフレータに基づいて算定しております。
使用しないこととした建物については、今後解体予定であることから「０円」(ただし、解体されるまでは、構成品単位で備忘価格「１円」で管理）として算定しております。
⑷　内之浦宇宙空間観測所の建物の一部
①　固定資産の概要
・用途　衛星の運用管制用建物ほか
・種類　建物
・場所　鹿児島県肝属郡肝付町南方1791―13
・減損前の帳簿価格（平成23年度期首）　38,342,155円
②　減損の認識に至った経緯
上記資産については、衛星の運用管制用建物等として３建屋をＪＡＸＡ設立に際し承継しましたが、承継時に比べて平成23年度期中における利用率が著しく低下しており、利用率の回復は見込まれないことから、減損を認識しました。
③　算定方法等の概要
減損額は、正味売却価額により算定しており、正味売却価額は、不動産鑑定業者が作成したデフレータに基づいて算定しておりますが、算定額が帳簿価額を上回っていたため、減損額は生じませんでした。
⑸　種子島宇宙センターの建物の一部
①　固定資産の概要
・用途　ロケットエンジン燃焼試験設備、データ中継設備及びロケット打上げの射場設備ほか